

地域の小さな声を聴く力。公明党

令和2年第1回定例会での公明党代表質問

災害時の情報伝達の強化について

災害時は全区民に正確かつ迅速に情報を届けることが不可欠だ。スマートフォンやラジオを持たない人には、固定電話やFAXに情報を発信するなど工夫せよ。

【答弁】他自治体の事例を検証し、導入に向け検討する。

フレイルサポーターの一層の確保について

健康寿命延伸に向け要介護手前の状態「フレイル」の予防の重要性を指摘してきた。地域での住民主体の予防促進に向け、フレイルサポーターの確保に注力せよ。

【答弁】今後も、地域で担い手となる人材を育成していく。

第2の産後ケアセンター整備実現について

法改正により、産後ケアセンターの設置運営に対する国の補助制度が創設される見通しだ。産後ケア拡充の声を受け第2の産後ケアセンター整備実現に尽力せよ。

【答弁】財源など実現に至る諸条件の検証を積極的に進めていきたい。

SDGs(エスディーズ)達成へのロードマップについて

持続可能な開発目標「SDGs(エスディーズ)」の達成期限である2030年まで10年を切った今、全庁を挙げて取り組みを推進すべきだ。目標達成に向けたロードマップを作成せよ。【答弁】ロードマップ作成も念頭におき全庁を挙げ意識改革を進める。

子どもに向けた認知症条例の啓発について

認知症条例の制定に合わせ、より多くの区民に認知症への理解を促進すべきだ。学校で認知症理解に資する絵本を活用している大牟田市に倣い子どもにも啓発せよ。

【答弁】理解しやすい条例の解説書の作成などを検討する。

ふじみ荘に代わる施設の整備について

高齢者の孤立防止や健康増進など重要な役割を担ってきたふじみ荘が2年度末で廃止となる。同様の場を区民に提供できるよう、新たな健康増進施設を検討せよ。

【答弁】がやがや館など類似施設を代替施設として活用願う。

就職氷河期世代への支援策の推進について

就職氷河期世代への就労支援を充実すべきだ。三茶おしごとカフェなどと連携し、実践的な就業体験や訓練などの支援策を講じよ。

【答弁】就労支援機関や就業体験先との情報共有を強化する。

東京2020大会中のイベント情報発信について

東京2020大会中の区内イベントを国際交流促進に生かすべきだ。地域の盆踊りなどを観光用マップとしてまとめ、SNSで訪日外国人向けに積極的に情報発信せよ。

【答弁】SNSの発信に加え関係団体からの発信も依頼する。

東京2020大会に向けた感染症対策について

東京2020大会中は区にも多くの外国人の来訪が見込まれ、新型肺炎などの感染症蔓延(まんえん)が一層懸念される。感染症に迅速に対応できるよう万全の医療体制を構築せよ。

【答弁】健康危機管理の体制づくりに庁内一体で準備をしている。



働きまわす！
あなたのため！